

第8回田原市男女共同参画推進懇話会議事要旨

- 1 日 時 平成21年10月26日(月) 13:30~15:30
- 2 場 所 田原市役所北庁舎302会議室
- 3 出席者 ○委員17名 山本和子(会長)、中村都祁子(副会長)、大羽通之、
鈴木佳余子、森下静子、荒木英夫、石井敦子、大久保哲夫、小久保京子、
櫻井貫二、太田由紀夫、河合美恵子、鳥居和子、杉浦拡、永田みよ江、
平野利依、渡会里美
(欠席8名:大羽 敏、田中 敢、松本耕治、伊藤 立、渡辺清子、山本明子、朝倉登喜子、加子幸子)
- 事務局3名 藤井市民協働課長、鈴木副主幹、広中主任

4 議題要旨

○杉浦委員あいさつ(急用のため、あいさつ後退席)

(1) 報告

①市の取り組み状況について…事務局説明(資料1)

- ・市民協働課の実施(予定)事業の状況
- ・各課における関連施策の取組状況

○質問>人事課の企業派遣は、どんなところへ派遣しているのですか。

→事務局回答>東京の高島屋へ。

◆【関連意見】

- ・終了時でいいので、一度、懇話会で派遣されている方の話を聞いてみたい。

○質問>学校教育課の海外派遣24名中、女子が21名。これは、どういう基準で選ぶのですか。

→鈴木委員回答>田原中学校では、希望する生徒に、「どうして行きたいか」「向こうで何をしたいか」などアピールをさせて選考し、それでも人数が多かったそうで、最終的にはくじ引きで決めたようだ。

○質問>子育て支援課の母子自立支援事業給付金の事業内容は、どのようになっているのですか。

→事務局回答>離婚等をされて、幼い子どもを育てるのに、なかなか仕事に就くことができないため、何か資格を持っていれば、仕事に就きやすいということで、資格取得のための学校に通われる方に、在学中の生活に困らない程度の支援をしていくもの。金額については、後日お知らせします。

- ・市民協働課における平成22年度計画業務(案)

②各委員の取組状況について…各委員報告(資料2)

◀報告内容▶

○今年は、田原市市民協働まちづくり補助金採択事業として、ウィットでライフアップセミナーをシリーズでやっている。今までに講座、懇談会、フォーラムを開催した。

○講演会は、講師に心理カウンセラー 内田良子さんを講師に、子どもの心を聴くとは「子どもの心が見えていますか」～今、大人の生き方が問われています～と題し開催。63名が参加された。

○フォーラムは、たはら面白マップフォーラム田原市生き生き女性力と題し、基調報告「あ

いち女性面白マップより」とパネルディスカッション「私の男女共同参画」を開催。31名が参加された。

③重点推進テーマ実践事業の取り組みについて … フェスティバル運営部会長・事務局報告（資料3、4）

- ・男女共同参画フェスティバルの状況
- ・あいち国際女性映画祭の状況

（3）検討事項

平成21・22年度の重点推進テーマ・実践事業について … （資料5、6、7）

《山本会長説明》

- ・「ライフバランス」の説明。
- ・4つのグループに分かれて検討。平成22年度の重点推進テーマ等、次回3月の懇話会にて決定する。

《グループワーク意見》

- 家庭における男女平等という、夫婦のこの話し合いをした。
- 夫婦でお互いにフルタイムで働いているが、夫は家事を何もしてくれない。疑問に思い、夫に手紙で伝えたが、夫からは返事がない。婿取りのため、自分の両親が先にやってしまうことや夫が東北出身で家父長制度が強いこともあり、なかなか夫の家事的自立は望めない。
- 夫がダイエットを始め、BSEという狂牛病があった時くらいから、家事に興味を持ち出し、自分のことはしてくれるようになり、夫婦で家事をしている。
- 自分は若いころから役をやってきて、出てばかりいるため妻に迷惑をかけてきた。家事はできないけれど妻をととても尊重している。今日のような会議に出て、家に帰ると必ず「何があったよ」と妻に報告して、毎日夫婦で会話ができている。常に妻から「ありがとう」ということを言われている。
- 共働きを長くしてきたので、夫婦での会話はできていて、家事もフィフティ・フィフティである。子どもたちも共働きをしているような家庭を持っている。外国人と結婚した娘の家族が、お国柄の違いがあり少し心配している。
- 私たちは、推進テーマというのは、家庭における平等というのが、一番身近でいいのではないかという結論になった。
- 活動を進める各種団体に行政が協力できる環境が整ってきた。
- 今の生活の中で、差別意識を無くすとか、意識改革をしていく学習が不足している。
- 参画を進めるにあたり、行政にどう協力してもらおうか、行政をどう利用するかのも勉強も必要。
- 男女共同参画の将来像に近づくための学習が今後必要。
- 何を進めるかにあたっては、「実情がつかめていない」ことや「何をどう進めるかわからない」と言う部分を補う活動を何かするべきではないか。
- 最近、女の方は、「元気がいい」と言われているが、本当に元気がいいのか。
- 男の人だって、一生懸命やっているのに、女の人ばかり元気がいいと言われているのではないか。
- 農作業した後、トラクターの掃除とか後始末など、男の人が黙ってやっている。女の方はそういうことはやらないのに、家事をやれやれと言う。その辺の役割分担というのは、本音で会話していくことが必要ではないか。
- それぞれの仕事の分野を「男」「女」と区別するのではなく、理解してもらいたい。
- 農家に嫁いだお嫁さんの話は現実なのかという話から、それは20年くらい前に嫁い

だころの話で、今はそんなことは余り無いと思う。

- 農家では、命令系統はだいたい女性が仕切っている。収入も、それぞれ口座をちゃんと持っていて、後で集められることはあるけど、一応収入もちゃんとある。
- 休みは、第一次産業なので、決まった日に休むことは非常に難しいけれど、子どもがいる場合、子どもの年代に合わせた仲間作りをしていて、そこに夫や子どもも参加したりする。男性の方は、簡単に集まりはでき、仲間も作りやすい。高齢の方は、老人会があったり、同級生や仲間との活動はできる環境である。
- 家の中は、比較的どこもそんなに厳しいと言うことは少ないと思う。
- 職場の方は、ワークの部分のルールに従ったやり方でもって、守らないといけないので、平等や共同参画の面は問題ない。
- 家を出てから職場までの間、全体の空気などいろいろなことを含めて、先ほどの田原に嫁いだ農家のお嫁さんの話のように、「家から一步でたら地域でものを言うな」という範囲が非常に難しいものがある。
- 地元で、女性が立候補した時に「頑張ってるね」と、一対一で応援したり、電話では応援できるけれども、他の人がいるところでは、公に応援できないような空気が、このまちには沢山ある。
- 家の中と職場はかなり良くなってきたけれど、建物から出た外側では、体面を気にしなければならないことが沢山ある。
- 意識改革というのは、非常に難しい。待っていても出来ない。行政の姿勢が大事ではないか。
- 出来るかどうかは別として、自治会の会長は1年おきに男女が会長になりなさいとか、女性が会長なら、男性が副をやりなさいなどと、女性がトップに出ることが当たり前になるよう、行政の姿勢をどこかで示してほしい。
- 意識改革を進めるということが、少しでも具体的に動く方法をという意見でまとまった。

③ その他の男女共同参画の推進に関する提案等

- ・男女共同参画フェスティバルを開催する時、かなりいろんな団体のネットワークで参画しながら、あのような場が設けられている。しかし、女性団体が田原市の中で交流するということが今までなかった。意識改革をしようとするときなど、団体同士のネットワークが非常に機能すると感じている。その辺のことで、来年考えていることはあるのか。

◆【関連意見】

- ・フェスティバル3年4年目と、だんだんとカラーを出していく必要がある。その時にその人達とのネットワークが強いものになってくると思う。実行委員会形式から部会形式。懇話会が主体のようで、主体ではないようなベースがとても不安定だと感じている。懇話会での内容を流し、進めるための推進団体と言うような感じのものになるのではなかと感じている。

(4) その他

① 次回開催 … 事務局

- ・次回は3月中旬の開催を予定。
- ・他市の行事案内（豊橋市、豊川市、新城市）

5 資 料

- [資料1] 市の男女共同参画関連事業の実施概要
- [資料2] 各委員による取り組み状況（委員連絡票）
- [資料3] 男女共同参画フェスティバル・あいち国際女性映画祭
- [資料4] 第2回男女共同参画フェスティバル 各委員による意見等
- [資料5] 「ライフバランス」のイメージパターン
- [資料6] 重点推進テーマ等の意見交換
- [資料7] 重点推進テーマ、テーマ実践事業の検討（参考案）

以上

第8回田原市男女共同参画推進懇話会 出欠簿

通番	役職	氏名	備考	出欠	グループ
1	会長	山本 和子	学識経験者) 愛知大学短期大学部非常勤講師	出	A
2	副会長	中村 都祁子	市の関係組織) 行政相談委員	出	B
3	委員	大羽 敏	地域団体) 田原市総代会会長(神戸校区総代)	欠	—
4	〃	大羽 通之	〃) (社)田原青年会議所事務局次長	出	C
5	〃	鈴木 佳余子	〃) たはら国際交流協会	出	D
6	〃	田中 敢	医療団体) 愛知厚生連渥美病院総務課長	欠	—
7	〃	松本 耕治	福祉団体) 田原市社会福祉協議会総務課長補佐	欠	—
8	〃	森下 静子	市民団体) 女性会議 WIT ウィット代表	出	C
9	〃	荒木 英夫	産業関係) 中山漁業協同組合長	出	B
10	〃	石井 敦子	〃) 渥美商工会女性部長	出	A
11	〃	伊藤 立	〃) 田原市認定農業者連絡会会長	欠	—
12	〃	大久保 哲夫	〃) 愛知みなみ農業協同組合人事課長	出	A
13	〃	小久保 京子	〃) 田原市商工会女性部長	出	B
14	〃	櫻井 貫二	〃) トヨタ自動車(株)田原工場人事グループ長	出	C
15	〃	渡辺 清子	〃) 田原市観光協会旅館業組合員((有)丸久黒潮)	欠	—
16	〃	太田 由紀夫	市議会) 田原市議会議員	出	D
17	〃	河合 美恵子	各種委員会) 田原市農業委員会委員	出	D
18	〃	鳥居 和子	〃) 田原市防災会議委員(田原市赤十字奉仕団委員長)	出	C
19	〃	山本 明子	〃) 田原市教育委員会委員	欠	—
20	〃	杉浦 拡	市の職員) 市民環境部長	出 (中座)	—
21	〃	朝倉 登喜子	その他市民) 公募者	欠	—
22	〃	加子 幸子	〃) 〃	欠	—
23	〃	永田 みよ江	〃) 〃	出	D
24	〃	平野 利依	〃) 〃	出	B
25	〃	渡会 里美	〃) 〃	出	A